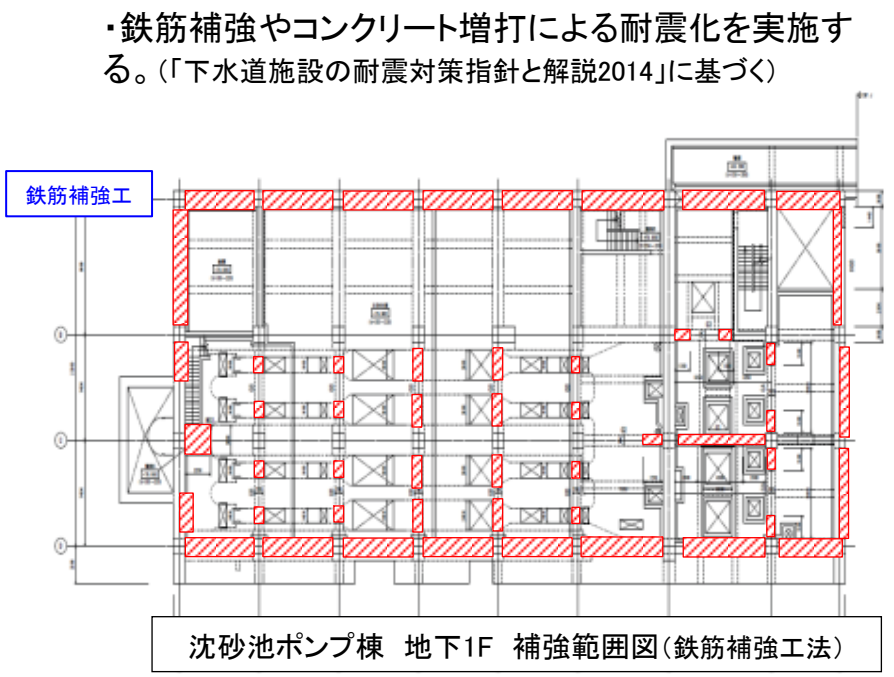


# 流域下水道事業<全国の下水処理場等の耐震対策等に関する緊急対策>【山形浄化センター】

●事業概要：流域下水道施設は平成23・24年に耐震診断を実施したところ、処理場の約6割の施設において耐震性能を満足しないことが判明している。下水道施設は重要なライフラインのひとつであり、機能を喪失した場合には、トイレが使用できない等、直接住民生活に影響を与えるうえ、公共用水域の汚染などの重大な社会的影響を及ぼすものであることから、平成25年度より下水道総合地震対策計画に基づく各施設の耐震対策に取り組んでいる。山形浄化センターにおける沈砂池ポンプ棟等の耐震化を実施し、事業効果の早期発現を図る。



【事業内容】  
 事業実施箇所：山形浄化センター  
 沈砂池ポンプ棟  
 事業内容：耐震補強工事  
 事業期間：H30～R2



・鉄筋補強やコンクリート増打による耐震化を実施する。(「下水道施設の耐震対策指針と解説2014」に基づく)

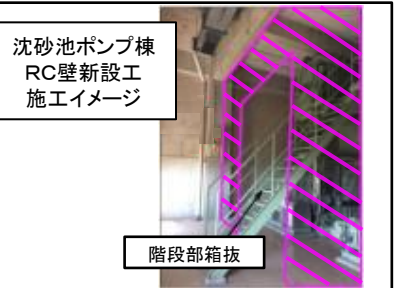
下水道事業計画

処理区名：最上川流域下水道  
 山形処理区

計画処理面積：7,592 ha

計画処理人口：258,030 人

計画水量：116,888 m3/日



事業効果

沈砂池ポンプ棟等における地震時の機能停止リスク低減策を概ね完了させ、大規模地震等の災害時においても水処理の確実な継続及び住民への影響を最小限にとどめる。